

／ みんなで考えた /

大田区の みらい

大田区都市計画マスタープラン改定
に向けた区民参画の成果報告書



区民参画について

都市計画マスタープランの改定にあたって、大田区の未来や地域のまちづくりの方向性などを、大田区に関わる多くの皆さま（住む人、働く人、学ぶ人など）と共に考え、意見を伺う機会として、区民参画を実施しました。

令和元年度の取り組み

2019

改定作業
START

9

アンケート

現行都市計画マスタープランの振り返りや今後のまちづくりの方向性の検討等のご意見を、主に区民の皆様を対象にしたアンケートにより集めました。

1) 無作為抽出者によるアンケート

実施期間 2019/9/11(水) ~ 9/25(水)

対象 18歳以上区内在住者(無作為抽出 2000名)

2) WEB 公開アンケート

実施期間 2019/9/11(水)

~ 10/11(金)



11

まちづくり座談会

実施内容 区民の皆様が日頃感じている区への想いや可能性について、世代毎に集まり議論することにより、区民視点の課題や機会のキーワードを集めました。まちづくりに関する6つのテーマから関心のあるテーマを選んでいただき、様々な質問をしながら参加者のご意見を伺いました。

実施期間 2019/11/20(水) ~ 2019/12/19(木)

参加団体 シニア、区内在勤者、障がい者、子育て世代、外国人、大学生、高校生 (計10団体)



意見募集箱

まちづくり座談会で収集しきれなかったより多くの区民目線の長所や課題を集めました。

1) 紙面での募集

実施期間 2019/11/11(月) ~ 12/25(水)

設置箇所 特別出張所、図書館、他(全30か所)

2) WEB での募集

実施期間 2019/11/11(月) ~ 12/25(水)

※別途、令和元年度 第2回生徒代表者意見交流会で区内中学校 28校から意見募集を実施。



2020

ワークショップ

実施内容 将来に対して想いのある区民が集まってもらい、互いの自由な発想を重ね合わせることで、20年後の大田区に向けたアイデアやみらいのまちのコンセプトをまとめました。

第1回

日時・場所 2020/1/22(水) 18:30~20:30
場所・参加人数 大田区消費者生活センター・12名
対象テーマ 産業 / 交通 / 住環境

第2回

日時・場所 2020/1/25(土) 10:00~12:00
場所・参加人数 大田区消費者生活センター・15名
対象テーマ 住環境 / 国際化・観光 / 安全・安心

第3回

日時・場所 2020/1/26(日) 14:00~16:00
参加人数 Luz大森・7名
対象テーマ 環境・みどり(水辺) / 交通



3

ポスター展示

アンケート、まちづくり座談会、意見募集箱、ワークショップを通じて得られた区民の意見や想いを、「区民の考える大田区のみらい」としてまとめ、これまでの区民参画の成果と合わせてその内容を周知します。

1) 本庁舎1階展示コーナー

実施期間 2020/3/16(月)~3月19日(木)

2) WEB 公開

実施期間 2020/3/16(月)~



区民参画の実施状況

		概要	実施期間	実施・募集方法 ／場所	参加者・ 回答数
アンケート	無作為抽出	区内在住者（18歳以上）からの無作為抽出とWEB公募により、現行計画の認知度やテーマごとのまちづくりの満足度等についてアンケートを実施	令和元年9月11日～9月25日	—	765件 （2,000名対象）
	WEB		令和元年9月11日～10月11日	大田区 HP にて掲載	21件
まちづくり座談会		区民が日頃感じている区への想いや可能性について、世代毎に集まりテーマごとに議論	令和元年11月20日～12月19日	本庁舎 他	10団体 延べ64名
意見募集箱※	紙面	都市づくりに関連するテーマを選択し、「好きなところ」「未来にも残しておきたいところ」と「変えていきたいところ」「実現したいと思うこと」について意見を募集	令和元年11月2日～12月26日	全30箇所設置 （出張所、図書館 他）	71件
	WEB		令和元年11月1日～12月25日	大田区 HP にて掲載、 二次元バーコード	14件
ワークショップ		他の区民参画の成果を使いながら、参加者がグループごとに意見交換し、みらいのまちのコンセプトをまとめる	令和2年 1月22日、25日、 26日	大田区消費者生活センター 他	3回 延べ34名
ポスター展示		区民参画を通じて得られた区民の意見や想いを、「区民の考える大田区の未来像」としてまとめ、その内容と取組みを周知	令和2年 3月16日～19日	本庁舎	—

※別途、令和元年度 第2回生徒代表者意見交流会で区内中学校28校から意見募集を実施。

アンケート

現行都市計画マスタープランの振り返りや今後のまちづくりの方向性の検討等のご意見を、主に区民の皆様を対象にしたアンケートにより集めました。

実施内容	<p>1) 無作為抽出者によるアンケート</p> <p>①対象：18 歳以上区内在住者（無作為抽出 2,000 名）</p> <p>②アンケートの回答及び提出方法：以下のいずれかの方法で回答郵送、電子申請</p> <p>③実施期間：令和元年 9 月 11 日（水）～9 月 25 日（水）</p> <p>④回収結果 回収数：765 通（郵送での回答：674 通、電子申請での回答：91 通） 回収率：38.3%（サンプル数 765 通 / 配布 2,000 通）</p> <p>2) WEB 公開アンケート</p> <p>①対象：公開（年齢、国籍問わず、区内在住でなくても回答可能）</p> <p>②アンケートの回答及び提出方法：以下のいずれかの方法で回答郵送電子申請</p> <p>③実施期間：令和元年 9 月 11 日（水）～10 月 11 日（金）</p> <p>④回収結果 回収数：21 通（全て電子申請での回答）</p>
設問の概要	<p>①現行都市計画マスタープランの認知度について</p> <p>②まちづくりに関する 8 つのテーマの満足度や今後のまちづくり等について（土地利用、交通ネットワークの整備、水と緑のまちづくり、安心・安全なまちづくり、住宅・住環境の整備、産業のまちづくり、景観のまちづくり、環境のまちづくり）</p> <p>③大田区のまちづくりの魅力や課題について</p> <p>④まちづくりへの参加経験について</p>

アンケート

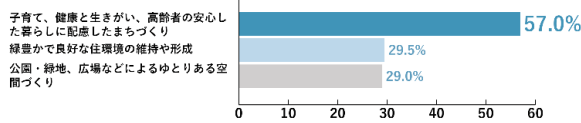
現行大田区都市計画マスタープラン（平成23年3月改定）の振り返りや、今後のまちづくりの方向性の検討に役立てるため、区民アンケートを実施いたしました。

まちづくりに関する8つのテーマ

まちづくりに関する8つのテーマについて、皆さまが重要だと考える項目TOP3をご紹介します。

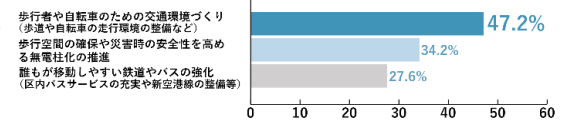
①まちづくりの方向性や将来のまちの姿

▶ 多世代が安心して暮らせる居住環境の充実が求められている。



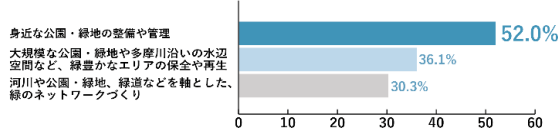
②快適な交通環境の整備

▶ 歩行者や自転車利用者のための空間の充実や安全性の確保が求められている。



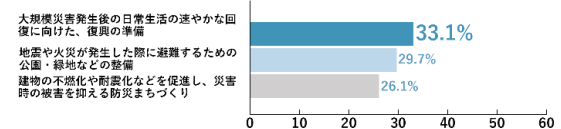
③潤いとやすらぎのある、水と緑のまちづくり

▶ 日常的に利用できる公園や緑地が求められている。



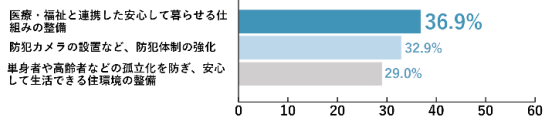
④安全・安心なまちづくり

▶ 大規模災害時の速やかな復興に向けた仕組みづくりや都市整備などが求められている。



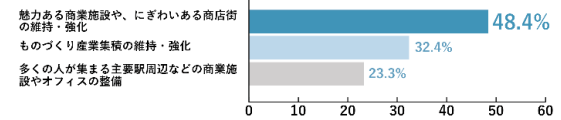
⑤誰もが住みやすい住環境

▶ 医療・福祉体制の充実や防犯対策の強化が求められている。



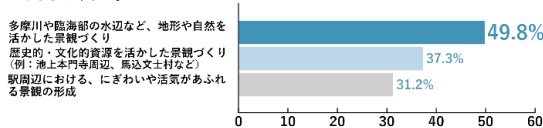
⑥産業分野におけるまちづくり

▶ 主要駅における商業施設や日常的に利用できる商店街の魅力向上が求められている。



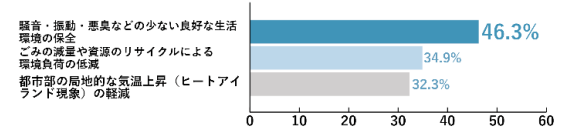
⑦魅力ある景観形成や、大田区らしい景観形成

▶ 区の地域資源である自然や歴史的資源を活用した景観づくりへの関心が高い。



⑧環境に配慮したまちづくり

▶ 身近な生活環境に関する意見が多く、環境の保全が求められている。

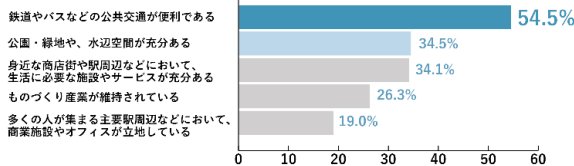


大田区のまちづくりの魅力や課題

大田区全体のまちづくりについて、皆さまが魅力／課題だと感じる項目TOP5をご紹介します。

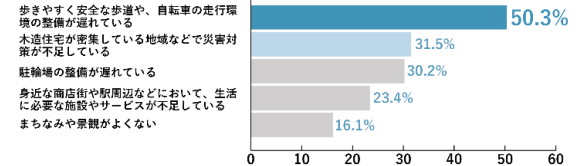
大田区のまちづくりの魅力

▶ 区内に整備されている公共交通ネットワークの利便性や豊かな自然環境を魅力に感じている人が多い。



大田区のまちづくりの課題

▶ 歩行者や自転車利用者のための空間や、木造住宅密集地域の災害対策を課題に感じている人が多い。



まちづくり座談会

区民の皆様が日頃感じている区への想いや可能性について、世代毎に集まり議論することにより、区民視点の課題や機会のキーワードを集めました。まちづくりに関する6つのテーマから関心のあるテーマを選んでいただき、様々な質問をしながら参加者のご意見を伺いました。

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一回約 1.5 時間程度で実施。 ・まちづくりに関する6つのテーマを用意。
	<p>【テーマ】</p> <p>国際化・観光/産業/住環境/安全・安心/交通/環境・みどり（水辺）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代毎に集まっていただき、関心のあるテーマについて、進行役が様々な質問をしながら参加者の意見を伺いし、記録係がポストイットに記録。

No.	日時	対象者	参加人数
1	2019/11/20(水) 18:00～	区内在勤者	5
2	/11/21(木) 13:30～	大学生	14
3	/11/25(月) 10:00～	大学生	5
4	/12/03(火) 10:00～	シニア（大田区シニアクラブ連合会）	6
5	/12/12(木) 10:00～	障がい者	4
6	/12/13(金) 19:00～	子育て世代	4
7	/12/14(土) 10:30～	外国人（国際都市おおた大使）	5
8	/12/14(土) 13:30～	高校生	4
9	/12/18(水) 13:30～	大学生	7
10	/12/19(木) 11:00～	大学生	10



区内在勤者



大学生



シニア



障がい者



大学生



大学生

まちづくり座談会

参加していただいた10団体、計64名の皆さまの、大田区に対する想いや可能性に関するご意見をご紹介します。

国際化・観光



- ・蒲田の小汚い店の魅力を活かす
- ・温泉を生かしたテーマパークをつくる
- ・羽田空港でワクワクするしかけが必要
- ・インバウンド（観光客という視点）だけではなく国際的に活躍できる人材を育成する
- ・病院の多言語化やキャッシュレス対応が必要
- ・工場跡地を温泉施設など観光資源として活用する
- ・案内板に二次元バーコードをつけて歩きながら情報を得ることができると便利

住環境



- ・住み分けをして魅力を引き出すべき
- ・蒲田の雑多な感じが良い
- ・誰もが利用できるホワイトスペースを街中につくるべき
- ・気が付いたら「交流」しているコミュニティがよい
- ・多世代共生のモデルをつくりたい
- ・学生同士で気軽に集まれる場所がほしい
- ・空き家をシェアハウスや店舗にできないか
- ・ゲストハウスとまちなか拠点が連携できると面白い
- ・地域密着の雰囲気があると、安心できるし住みやすい
- ・多世代が集まれる施設に、高齢者も行きやすいような循環バスがあるといい

産業



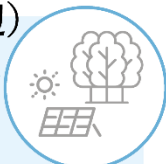
- ・産業の魅力エリアが必要
- ・羽田から蒲田へ流れる人を受け止める機能があるべき
- ・工場とアーティストが連携できないか
- ・雑色の商店街は残したい
- ・蒲田や周辺の近いところに産業の拠点があるといい
- ・商店街に多世代向けの機能があるといい
- ・クリエイティブな人たちと工場が連携すると面白い

安全・安心



- ・病院を避難所にしてほしい
- ・防災機能を強化したマンションでスピード対策をする必要がある
- ・防犯カメラの情報をハザードマップに活用
- ・観光客向けと住民向けに、避難所の案内板を設置する
- ・木密地域が多いので、災害で倒壊などがあってもドローンなど新しい技術が使えるといい
- ・地震と風水害でそれぞれに適切な避難場所を案内する必要がある

環境・みどり（水辺）



- ・大きな公園に駐車場がほしい
- ・呑川の活用を考えたい
- ・生物多様性が必要
- ・多摩川沿いの桜並木は残したい
- ・空き家をリノベしたカフェなど、路地に入らせる工夫をする
- ・豊かな緑、水辺空間である洗足池公園は残したい
- ・広場やバスケットコートがあるなど、いろんなタイプの公園があるといい
- ・自然を活かした公園があるといい

交通



- ・回遊させる仕掛けが必要
- ・海辺を自転車で通れるようになるといい
- ・大森、臨海部へのアクセス向上が必要
- ・京急、JR間はコミュニティサイクルがあると良い
- ・呑川沿いは、道幅が広く信号も車も少ない
- ・歩道が広く歩きやすくなるように、無電柱化が必要
- ・歩行者と自転車が別のレーンで、広くて平らな道があるといい
- ・街路樹やガードレールをつくっても自転車が走れるようにしてほしい
- ・高齢者、子供が通る道と自転車道が分かれているといい

意見募集箱

まちづくり座談会で収集しきれなかったより多くの区民目線の長所や課題を集めました。

<h2>実施内容</h2>	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマリストから関心のあるテーマを選択し、テーマに対する「好きなおとこ」「未来にも残しておきたいところ」と「変えていきたいところ」「実現したいと思うこと」について回答。 ・ 回答者は、「年代」と「大田区との関わり」を選択。
	<p>1) 紙面での募集</p> <p>①設置個所：特別出張所、図書館、他（30か所）</p> <p>②実施期間：令和元年11月11日（月）～12月25日（水）</p> <p>③回答数：71件</p> <p>2) WEBでの募集</p> <p>①実施期間：令和元年11月11日（月）～12月25日（水）</p> <p>②回答数：14件</p> <p>※別途、令和元年度 第2回生徒代表者意見交流会で区内中学校28校から意見募集を実施。</p>

■ 回答用紙/回答フォーム

紙面

大田区都市計画マスタープラン
意見募集箱 回答用紙

大田区の未来のまちの姿って？？
皆さまのご意見をお聞かせください！

大田区では現在、「大田区都市計画マスタープラン」の改定作業を行っています。改定にあたって、大田区の未来や地域のまちづくりの方向性などについて、区に關わる多くの皆さま（住む人、働く人、学ぶ人など）のご意見をいただく方法として、意見募集箱を設置しています。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、大田区都市計画マスタープラン改定の検討のために活用させていただきます。年齢、性別、国籍等は問いませんので、多くの皆さまからの様々なご意見をお待ちしております。

ご意見募集期間 令和元年12月25日（水曜日）まで

お問い合わせ先
大田区 まちづくり推進部 都市計画課
電話：(03)5744-1333（直通） FAX：(03)5744-1530

回答方法
① 郵送 ※ 返送の封筒にお答えください。
② 回答の記入が終了したら、備考欄の専用箱に投函してください。
※ 右の二次元バーコードまたは下のURLから意見募集箱のページにアクセスし、ご回答いただくこともできます。
URL: https://www.city.of-yamanashi.jp/kusajicho/04a/P100/Kobetsu_gpan/
https://www.city.of-yamanashi.jp/kusajicho/04a/P100/Kobetsu_gpan/

1 自身について、当てはまるものに○をつけてください。

あなたの年代

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

あなたと大田区との関わり（※複数選択可能）

大田区に住んでいる 大田区で学んでいる
 大田区で働いている その他（ ）

このまま裏面へお進みください

Web

大田区都市計画マスタープラン
意見募集箱

大田区の未来のまちの姿って？？ 皆さまのご意見をお聞かせください！

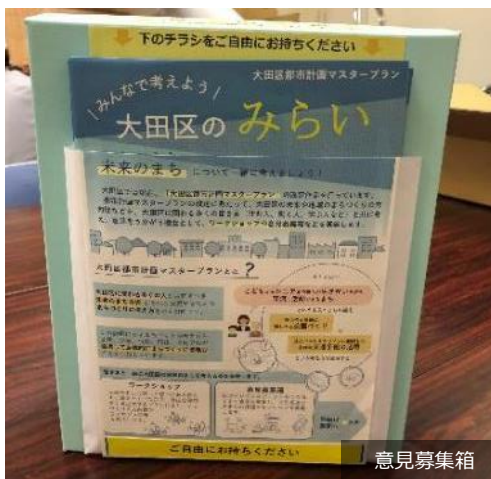
大田区では現在、「大田区都市計画マスタープラン」の改定作業を行っています。改定にあたって、大田区の未来や地域のまちづくりの方向性などについて、区に關わる多くの皆さま（住む人、働く人、学ぶ人など）のご意見をいただく方法として、意見募集箱を設置しています。

皆さまからいただいた貴重なご意見は、大田区都市計画マスタープラン改定の検討のために活用させていただきます。年齢、性別、国籍等は問いませんので、多くの皆さまからの様々なご意見をお待ちしております。

回答方法
① 11～13の欄から回答ください。
② 回答のやりかたは、お問い合わせ先をご覧ください。

【1】自身についての回答
ご自身の年代、あなたと大田区との関わりについてお答えください。

年代
 10代
 20代



意見募集箱

区民の皆さまの関心のあるテーマに対する「好きなところ」「未来にも残しておきたいところ」と「変えていきたいところ」「実現したいと思うこと」をご紹介します。

好きなところ・未来にも残しておきたいところ

国際化・観光

- ・空の玄関口として誇れるところ
- ・羽田空港があり都心へのアクセスも便利なところ
- ・身近に異文化にも触れあえる環境になっていると思う



住環境

- ・子どもが多く児童館が充実している
- ・出産後、大田区に越してきたが過ごしやすい
- ・特養の老人ホームが充実している、老人にやさしいと思う
- ・商店街などでお祭りなどの交流イベントが多いところ

産業

- ・「町工場」「技術力」はこれからも大田区が誇れるものであってほしい
- ・産業 / 中小企業が多い
- ・商店街が多く、おいしい飲食店がある



環境・みどり（水辺）

- ・平和島の公園などバーベキュー、アスレチックなどのスペースが好き
- ・美しい多摩川の自然は残してほしい
- ・洗足池、本門寺、ふる浜等残してほしい
- ・大田区は下町も多いし神社や寺も多いので文化や歴史等を大切にしてほしい
- ・二十一世紀桜



交通

- ・電車、飛行機、バス、モノレール、こんなにたくさんの交通機関が揃っているところはない
- ・羽田空港、都心へのアクセスの良さ
- ・高速道路が近くにあること
- ・自転車レーン、バスや車の交通網が発達しているところ

変えていきたいところ・実現したいと思うこと

国際化・観光

- ・国際交流の場を増やす
- ・グローバル化に伴い英語の看板を増やす



住環境

- ・区民のマナーの悪さが他区より目立つ
- ・福祉が他の自治体に比べて低い
- ・教育にもっと予算を割いてほしい

安全・安心

- ・建物を新しくしたり定期的に点検をする
- ・防災対策、弱者をたすけてやさしい街に
- ・安全に学校に行けるように、泥棒が家に入らないよう安心して暮らせるように



交通

- ・蒲蒲線
- ・自転車道と歩道を明確にわけ、取り締まりの強化をしてもらいたい



環境・みどり（水辺）

- ・ケヤキなど大木を街路樹に増やす
- ・赤ちゃんからお年寄りまで1日ゆったり過ごせるような広場

ワークショップ

将来に対して想いのある区民に集ってもらい、互いの自由な発想を重ね合わせることにより、20年後の大田区に向けたアイデアやみらいのまちのコンセプトをまとめました。

実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一回約2時間で実施。 ・出張座談会と同じ6テーマを用意。 実施回毎に、議論対象とする2～3テーマを設定。 ・グループ毎に1テーマ20分程度で議論。全テーブルで順番に各テーマについて議論。 ・1グループ3～6人で実施。
-------------	--

No.	日時	参加人数	場所	対象テーマ
1	2020/01/22(水) 18:30～20:30	12	消費者生活センター	<ul style="list-style-type: none"> ・産業 ・交通 ・住環境
2	2020/01/25(土) 10:00～11:45	15	消費者生活センター	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境 ・国際化・観光 ・安全・安心
3	2020/01/26(日) 14:00～15:45	7	Luz 大森	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・みどり(水辺) ・交通



2020/1/22 (水) 実施 WS



2020/1/22 (水) 実施 WS



2020/1/25 (土) 実施 WS



2020/1/25 (土) 実施 WS



2020/1/26 (日) 実施 WS



2020/1/26 (日) 実施 WS

国際化・観光(1月25日)

リフレッシュできる街 (温泉・散歩・食)
ものづくりをアピール
空港すぐ近くにいろいろあるまち
(スタジアム・市場・ショッピングなど)



住環境 (1月22日・1月25日)

活気とゆとりあふれる明るい駅前空間
雑多さを残し駅前ににぎわいがほしい
様々な人たちと気軽に交流できる街
歴史ある建物を生かして外国人との交流
多世代にやさしい (子供が多い)
安心・安全のまち
誰もが移動しやすいまち



産業 (1月22日)

暮らしのなか (住宅街) で
小さな店、大きな夢
みんなのアイデアを町工場に



安全・安心 (1月25日)

防災に強いまちづくり
ボーダレスなまちづくり、官・民・住民
との連携、住民主体のまちづくり
顔の見えるまちづくり
あいさつできる範囲でのまちづくり



交通 (1月22日・1月26日)

かゆいところに手が届くオオタ 2040
車をつかわないまち
多世代にとってやさしい交通のまち
住んでる人もはじめて来た人も
誰でもどこでも行けるまち
自然と足が進むオオタ 2040
高齢者にやさしいまち



環境・みどり (水辺) (1月26日)

安全に管理されていて
安心して通れる空間があるまち
多世代のコミュニティを通して今あるゆとりの
ある緑空間 (緑道など) を維持できる街
遊びも趣味も楽しめる
自然を活かした公園がたくさんあるまち
多くの世代で楽しめる災害時にも集まれる
多目的な公園があるまち



区民の考える大田区の未来像

様々な区民参画を通して浮かび上がった未来のまちのアイデアをもとに、ワークショップを開催し、「区民の考える大田区の未来像」としてまとめました。その成果を、イラストを交えて紹介いたします。

交通 Transportation

かゆいところに手が届く オオタ 2040

水上交通の発展

羽田空港から水上で

空港に自転車で行けるように

臨海部へのアクセスを向上させる

多摩川のサイクリングロードへ照明を、夜間利用を増やす

車（マイカー）を 使わないまち

コミュニティサイクル、各駅に設置

コミュニティサイクル

バスの中のバリアフリー化

多世代にとって やさしい交通のまち

道路拡幅による自動車、自転車歩行道との分離

平らな道路

歩車分離

歩行者と車道を分けて安全な交通計画

歩道の段差をなくして車いすの利用をよくしてほしい

コミュニティバスがもっとあるとよい

高齢者のためのミニバス運行を高齢者の免許返納対策としても

高齢者にとって やさしいまち

バス待ち列の場所を確保する

歩行者専用空中道路

歩道を拡幅し、歩行者と自転車を分けて安全を保ってほしい

無電柱化

バス停位置のルート表示を分かりやすく（サイクルポートも）

歩行者専用道路に簡便な休憩所の設置、より多くの人に利用してもらう為に

停留所の案内板

まったく来たことがない方でも分かりやすい案内

住んでる人もはじめて来た人もだれでもどこでも行けるまち

自然と足が進む オオタ 2040

いろんな道中にちょっとした空間で休憩できる

自転車も安心して通れる道

コミュニティ道路を増やす

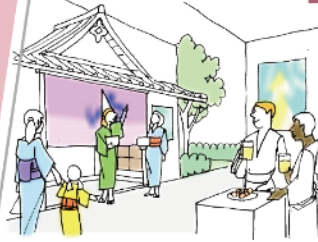
高齢者と、子どもが通る道と自転車道が分かれている

国際化・観光 Globalization / Tourism

空港すぐ近くにいろいろあるまち
(スタジアム・市場・ショッピングなど)

リフレッシュできる街
(温泉・散歩・食)

温泉の
テーマパーク



空港近くでアウトレットの商業地
を作っては？

スタジアム

市場の利用

羽田空港より大田区に
来るような観光資源を作る



散歩マップ、
歩ける街

ものづくり工場見学ができる

多国籍
な飲食街



こちゃっとした感じ、
雑物を売りに

いつでも
何をしている
のかが分かる
(イベントなど)



羽田空港自体
が資源

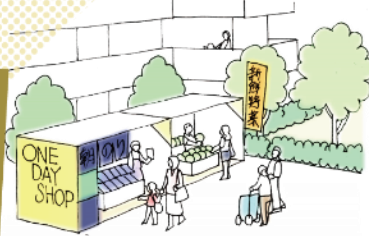
ものづくり
をアピール

産業 Industry

気軽に出店できるように

工場アパートのような集合体をつくる、
NPO、学校などの参加

暮らしのなか(住宅街)で
小さな店大きな夢



企業同士の
マッチング



一日店舗
週替店舗

町工場のマッチング、
技術をもっと活かしたい

職住近接、
好きな場所で働ける



町工場に製品のアイデア、
ラフを提案

みんなのアイデアを
町工場に

住まいとお店
が近い

住環境 Living climate

駅前を常に新しいイメージにしたい

駅前に広いスペースがほしい



活気とゆとりあふれる
明るい駅前空間

雑多さを残し
駅前ににぎわいがほしい

駅前の立体化による
土地有効活用
ができる街



雑多な雰囲気とキレイなお店
がゾーンを分けて共存

歩きやすい道路
施設のバリアフリーを徹底させる

駅と商店街の関係が楽しい

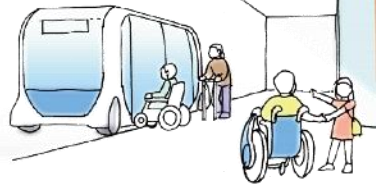
移動手段の多様化、
バリアフリー+α、セゲウェイなど



多世代にやさしい（子供が多い）
安心・安全のまち

駅員さんの介助なしに車いすの方が移動
できるようなバリアフリー整備

誰もが移動しやすいまち



高齢者が来やすい施設
になるための循環バス

遊びも趣味も楽しめる
自然を活かした公園
がたくさんあるまち



多世代が楽しく使える公園
（仕細みづくり）

ペットの交流ができる公園の整備、
散歩コースのモデル化



ペピーカー、車いす等を
簡単に入れるカフェ・レストランの拡充

臨海部にあるけど
行きやすくなるという

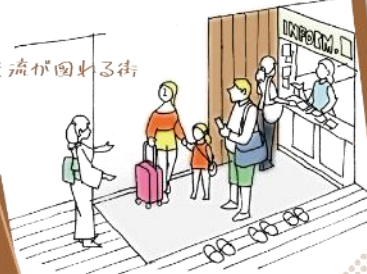
様々な人たちと
気軽に交流できる街



インバウンドと交流が図れる街

リノベーションを
すすめる

歴史ある建物を
活かした
外国人との交流



外国人も違和感ない町
（日本人と外国人のカベを感じさせない）

ゲストハウスと
まちなか拠点が連携

古い建物を活かした
まちづくり

環境・みどり (水辺) Environment / Green (waterside)

近くに必ず公園があると良い
二みどり空間、
建て詰まりを防ぐ



多世代のコミュニティを通して
今あるゆとりのある緑空間 (緑道など)
を維持できる街

住民が管理に当たり、
コミュニティの
絆づくりに役立ってたい



繁華街にも
安全な路地

路地に入らせる工夫 (例) リノベカフェ



安全に管理されていて
安心して通れる空間
があるまち

多くの世代で楽しめる
災害時にも集まれる
多目的な公園があるまち

防災の拠点
として

避難場所ともなる
大規模公園
があるとよい



安全・安心 Security / Safety

顔の見える地域 (関係) づくり

あいさつできる範囲でのまちづくり

防災は民間企業との連携
こじんまりとした避難所
(例: コンビニとか)

防災に強いまちづくり



民間施設との共有化
(共有スペース開放)



顔の見えるまちづくり

ボーダレスなまちづくり、
官・民・住民との連携、
住民主体のまちづくり

監視カメラの積極導入
(悪用がない前提で)
客観的な「目」が入るのはいい(ゾラは?)

弱者を守れる環境